

笑顔！笑顔！笑顔！



みどりの学校『やる木』『げん木』『こん木』 150 +1 (プラスワン)

令和8年 7月10日 長崎市立古賀小学校学校だより R809号 校長 桑原 重久

令和8年度 夏休みのくらし ～「いつもと同じ」ではありません

まもなく、子どもたちが楽しみにしている夏休みがやってきます。

先日配布いたしました「夏休みのくらしについて」、すでにご確認いただきましたでしょうか。毎年、皆様のご理解とご協力のおかげで、子どもたちが安全に夏休みを過ごせていることに、心より感謝申し上げます。

さて、この「夏休みのくらしについて」ですが、内容は毎年更新されています。なぜなら、子どもたちを取り巻く環境が、時代とともに激変しているからです。

今年は特に、赤文字でお示した「インターネットにつながるメディア（スマホ・タブレット・ゲーム機など）の使い方」について、例年以上に強い危機感を持ってお伝えしています。



「まだ小学生だから大丈夫」は、もう通用しない時代になっています。

！小学生でも実際に起きている！ネットのトラブル事例

「うちの子は大丈夫」と思っていませんか？ 近年、小学生が当事者となった深刻な事例が急増しています。

トラブルのタイプ：実際にあった小学生の事例

① 知らぬ間の「加害者」に

オンラインゲームのチャット機能で、友達に「下手くそ」「もう来ないで」と書き込み、相手が不登校に。(いじめ・不適切書き込み)

② 高額な「秘密の課金」

親のスマホや、クレカ情報が登録された端末を使い、親に無断でゲームに数万円～数十万円の課金をしてしまった。(金銭トラブル)

③ 見えない「犯罪被害」

SNS やゲーム内で知り合った「優しいお兄さん・お姉さん」を信用し、言われるがままに自分の顔や体、名札の写った写真を送ってしまった。(児童被害)

これらはすべて、特別なことではなく、「フィルタリングがなかったこと」「ルールが曖昧だったこと」が原因で、どのご家庭でも現実になり得る事例です。

保護者の皆様の「責務」として、必ず実行してほしい2つのこと

子どもたちを被害者にも加害者にもさせないために、夏休み前に必ず次の2つを徹底してください。

①「フィルタリング」の設定と、その確認

各キャリアやアプリのフィルタリング機能は、子どもを守る「シートベルト」です。「知らなかった」「設定が面倒」では済まされない、保護者の重大な責務です。すでに設定している方も、制限がすり抜けていないか今一度ご確認ください。

②「我が家のルール」を親子で話し合って決める。

「使う場所(リビングのみなど)」「使う時間(1日〇分、夜〇時まで)」「課金やアプリダウンロードは必ず親の許可を得る」などです。

これらを一方的に押し付けるのではなく、お子さまと話し合って納得させた上で決めることが、ルールを守らせる最大のコツです。

「まだ、スマホを持たせていないから大丈夫」…でしょうか？



現在主流のゲーム機器には、オンライン機能がついてるものが多く、実際に、子どもたちはオンライン機能を使って遊んでいるのではないのでしょうか？

小学生の被害の特徴は、このゲーム機器が発端となるもの大半です。

インターネットは便利で楽しい道具ですが、一歩間違えれば凶器にもなり得ます。

子どもたちが40日間の夏休みを笑顔で過ごし、9月にまた元気に登校できるよう、各ご家庭での厳格な管理とご協力をよろしくお願いいたします。

